

# いちご栽培管理 (R5.5.)

(有) 丸 富

4月には日中が暑くなったが、朝晩は冷えて寒暖差が激しかった。灰色カビ、スリップスなど病害虫の発生が多かった。気温が上がって早く熟れるので、過熟果が多く、先青果や不受精果、スリップス被害果なども多かった。

## 親株管理

近日点ではランナーの発生が少ないので、ランナーの発生を促進する。

ランナーの発生促進に**天地の恵み 500倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を散布(農薬散布時に混用可)、灌注する。

## 病害対策

育苗時の病害対策として、拮抗微生物を増やして、病害抵抗力を強化する。

病害抵抗力の強化に**ハイプロ**をポット培土に5%混ぜる。その後、拮抗微生物の増殖に**天地の恵み 500倍**(又は、**笑顔 1,000倍**)をポットに灌注する。※灌注はランナーをポットに挿す前、又はすける前でもいい。

## 害虫対策

近日点ではダニ、スリップス、アブラムシなど害虫が盛んに繁殖する。ハウス周辺の環境変化に注意。

害虫の事前対策に**バイオアクトTS 50~100 cc/10a**を5~7日毎に灌水する。(暑いと効果が短くなる。)

## 軟果対策

暑くなると、過熟になって、果実が軟らかくなる。果実温度が上がる前に収穫する。

果実の軟果対策に**酸カル 1,000倍**と**オリゴファイト 2,000倍**と**サンミネーラ 5,000倍**を葉面散布する。

灌水による軟果対策に**天然ミネラル 100 cc/10a**と**酸カル 100~200 cc/10a**と**サンミネーラ 50 cc/10a**を5~7日毎に灌水する。

※過熟による軟果と果実温度が上がって収穫した場合の軟果には効果がありません。

## 軟弱徒長抑制

軟弱徒長すると果実が葉の陰で熟れるので着色が悪く、食味(糖度)も落ちる。光合成を促進して芯葉を早く緑化させ、できる限り冷やして軟弱徒長を抑える。

緑化促進・徒長抑制に**天然ミネラル 2,000倍**と**酸カル 1,000倍**と**サンミネーラ 5,000倍**を葉面散布する。

## 追肥(液肥)

施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

**プロ液肥** 0.5~1ℓ/10a

**時を越えた贈り物(又は酸カル)** 100~200 cc/10a

**サンミネーラ** 50~100 cc/10a

**バイオアクトTS** 50~70 cc/10a

5~7日毎に灌水する場合  
※状況に応じて加減する

※サンミネーラの代わりにシカアップ 100~150 cc、天然ミネラル 200~300 cc、海藻のエキス 50 g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富

TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)